

「Cool downいせさき」 官民共創プロジェクト 事業概要

資料 1

別添 1

「日本一暑さに強いまち」の実現

本市では、日本一暑さに強いまちの実現に向け、民間企業・団体が有する技術やノウハウを活用するため、「Cool downいせさき」官民共創プロジェクトとして令和8年5月1日から暑さ対策につながる提案の募集を開始しました。

事業目的

官民共創のマッチング

民間企業・団体



民間企業や団体の持つ アイデアやノウハウを提案

- ◆地域へのダイレクトな貢献
- ◆暑さ対策市場など、新たな事業分野への挑戦
- ◆実施事業を広く周知する機会 など

行政（伊勢崎市）



民間からの提案を受け止め、 連携・協力を推進

- ◆人的資源や実施場所の提供
- ◆市民の皆様への新たなサービス提供の可能性
- ◆他の民間事業者への橋渡し など

事業の流れ

Step 1

民間企業や団体から 事業提案書の提出



民間企業や団体から、暑さ対策につながる事業等の提案が提出されます。（提案書は市ホームページ等でダウンロード可能）

Step 2

提案の受付 連携・協力の検討



提案を市で受け止め、提案内容と市の施策目的との整合性を確認した上で、実施可能なものについて連携・協力をします。

Step 3

事業実施に向け調整 （協議・協定等）



企業・団体ができることと、市ができること（会場提供、広報協力など）を整理し、実施に向け調整をします。

Step 4

事業実施及び 実績の公表



事業実施結果や提案状況について、市のホームページ等を通じて広く周知します。また、事業の継続性等について検討していきます。

市の施策との親和性、実現可能性等を確認した上で、民間主体で実施可能なものについては連携を進めるとともに、予算措置等を要する提案や実現可能性の見通しが立たない提案等については、今後の施策検討の参考とします。

幅広い視点から暑さ対策のアイデアを募集しています

＜事業提案の例＞

- ◆暑さ対策のためのイベント実施
- ◆暑さ対策のための商品開発
- ◆お店を休憩所として開放
- ◆イベントでドリンク類を配布
- ◆公共施設に緑のカーテンを設置 など



社会通念上、暑さ対策として禁忌とされるものの、危険を伴うもの、暑さを助長するおそれのある取組などは、提案できません。

提案状況

令和8年6月25日（木）時点で、10社（団体）からの提案を受け付けています。提案状況や提案内容の詳細については、別添2「提案状況一覧表」をご確認ください。

Cool down
いせさき



官民共創プロジェクト